



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月13日

上場会社名 ソーシャルワイヤー株式会社 上場取引所 東
コード番号 3929 URL <https://www.socialwire.net/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）矢田 峰之
問合せ先責任者 （役職名）管理部 経営企画Gr. 部長 （氏名）門脇 貴志 TEL 03-5363-4872
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第3四半期	2,512	12.8	166	40.9	142	113.6	160	7.0
2025年3月期第3四半期	2,227	△23.8	118	—	66	—	150	—

（注）包括利益 2026年3月期第3四半期 172百万円（118.1％） 2025年3月期第3四半期 79百万円（—％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	13.74	—
2025年3月期第3四半期	15.32	—

（注）2026年3月期第3四半期及び2025年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年3月期第3四半期	3,178	1,747	54.0	146.53
2025年3月期	2,521	1,575	61.2	131.76

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 1,715百万円 2025年3月期 1,542百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	3,450	18.7	205	49.7	185	154.5	220	29.4	18.79

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) 株式会社iHack 除外 1社 (社名) -

(注) 連結範囲の重要な変更には該当しないものの、前連結会計年度まで連結子会社であったGROSSCOOP PHILIPPINES INC. は、現地の法律に従い必要な手続きが整理されたため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。また、MK1 TECHNOLOGY VIETNAM COMPANY LIMITEDの出資持分の一部を譲渡したことにより、第2四半期連結会計期間より同社を連結の範囲から除外し、持分法の適用範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	11,844,800株	2025年3月期	11,844,800株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	136,053株	2025年3月期	136,053株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	11,708,747株	2025年3月期3Q	9,946,639株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しております。また、ホームページにも同日掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(重要な後発事象の注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用及び所得環境の改善やインバウンド需要の増加等により緩やかな景気の回復が見られる一方、不安定な国際情勢や、原材料及びエネルギー価格の高止まり、物価の上昇等により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような市場環境のもと、当社グループは、「SNSメディアを主戦場とするデジタルPR」を中核とし、インフルエンサーPRとリリース配信を組み合わせた企業向けの情報拡散・認知拡大モデルの高度化に取り組んでまいりました。従来のマスメディア中心のPRに加え、SNS上での共感形成や拡散力を重視したPRニーズの高まりを背景に、顧客の発信情報を効果的に届ける体制を整備しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、インフルエンサーPRを中心としたSNS主戦場のデジタルPR需要の拡大が寄与し、売上高2,512,890千円（前年同期比12.8%増）、営業利益166,942千円（前年同期比40.9%増）、経常利益142,764千円（前年同期比113.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益160,847千円（前年同期比7.0%増）となりました。

当社グループは、デジタルPR事業の単一セグメント事業のため、セグメント別の記載を省略しております。

なお、当社グループのデジタルPR事業は、SNSメディアを主戦場としたデジタルPRを中核としており、インフルエンサーPRを通じた情報拡散・認知拡大を主力事業として展開しています。併せて、リリース配信サービス、取引先チェック、新聞・WEB・SNS等のデジタルメディアを中心としたメディアリスニング及び情報分析サービスを提供し、デジタルPR活動を下支えする事業基盤を整備しております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産の額は3,178,512千円と、前連結会計年度末に比べ657,191千円の増加となりました。資産の増加の主な要因は、株式会社iHackの株式を取得したこと等により、現金及び預金が増加した一方、ソフトウェア開発に伴うソフトウェア106,829千円の増加及び、株式会社iHackの株式取得等に伴うのれんが631,545千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の額は1,430,768千円と、前連結会計年度末に比べ484,903千円の増加となりました。負債の増加の主な要因は、未払金が75,885千円減少した一方、株式会社iHackの株式取得等による借入により、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む。）が480,055千円増加及び、株式会社iHackの株式取得等に伴い買掛金が101,596千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の額は1,747,744千円と、前連結会計年度末に比べ172,288千円の増加となりました。純資産の増加の主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益160,847千円を計上したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期業績見通しについては、2025年11月14日に公表した業績見通しから変更はありません。

なお、業績見通しは、SNSメディアを主戦場とするデジタルPR需要の構造的な拡大を背景に、インフルエンサーPR領域を中心とした成長を見込んでおりますが、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因等により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,411,601	1,152,066
受取手形、売掛金及び契約資産	269,203	367,120
その他	262,417	202,810
貸倒引当金	△1,907	△1,185
流動資産合計	1,941,315	1,720,812
固定資産		
有形固定資産		
建物	32,809	49,195
工具、器具及び備品	38,553	42,279
その他	8,386	385
減価償却累計額	△54,235	△55,642
有形固定資産合計	25,513	36,217
無形固定資産		
のれん	20,959	652,504
ソフトウェア	382,343	489,173
その他	16,084	91,720
無形固定資産合計	419,387	1,233,398
投資その他の資産		
繰延税金資産	30,263	52,418
その他	125,127	147,343
貸倒引当金	△20,286	△11,677
投資その他の資産合計	135,104	188,084
固定資産合計	580,005	1,457,700
資産合計	2,521,321	3,178,512

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	54,239	155,140
買掛金	—	101,596
未払金	254,565	178,679
未払費用	73,703	87,669
未払法人税等	28,820	22,154
契約負債	307,888	287,001
その他	62,712	43,403
流動負債合計	781,930	875,643
固定負債		
長期借入金	139,962	519,117
資産除去債務	20,737	36,007
その他	3,234	—
固定負債合計	163,934	555,124
負債合計	945,864	1,430,768
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,017,320	100,000
資本剰余金	996,570	1,913,891
利益剰余金	△378,678	△217,831
自己株式	△83,924	△83,924
株主資本合計	1,551,287	1,712,135
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,000	4,501
為替換算調整勘定	△10,496	△995
その他の包括利益累計額合計	△8,496	3,505
新株予約権	207	45
非支配株主持分	32,457	32,057
純資産合計	1,575,456	1,747,744
負債純資産合計	2,521,321	3,178,512

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	2,227,764	2,512,890
売上原価	798,053	972,687
売上総利益	1,429,711	1,540,203
販売費及び一般管理費	1,311,204	1,373,260
営業利益	118,507	166,942
営業外収益		
受取利息	34	956
為替差益	3,363	1,779
投資事業組合運用益	1,695	—
関係会社株式整理益	—	7,538
リース解約益	3,848	—
その他	2,787	3,286
営業外収益合計	11,729	13,561
営業外費用		
支払利息	14,674	5,011
投資事業組合運用損	—	3,374
支払手数料	4,606	25,697
株式交付費	35,792	—
その他	8,320	3,656
営業外費用合計	63,394	37,739
経常利益	66,842	142,764
特別利益		
新株予約権戻入益	—	162
関係会社株式売却益	86,900	14,038
特別利益合計	86,900	14,200
税金等調整前四半期純利益	153,743	156,964
法人税等	4,293	△3,614
四半期純利益	149,449	160,578
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△832	△268
親会社株主に帰属する四半期純利益	150,281	160,847

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	149,449	160,578
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	170	2,500
為替換算調整勘定	△70,546	9,370
その他の包括利益合計	△70,375	11,871
四半期包括利益	79,074	172,450
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	79,760	172,849
非支配株主に係る四半期包括利益	△686	△399

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年6月24日開催の第19期定時株主総会の決議に基づき、2025年7月31日付で減資の効力が発生し、資本金の額917,320千円及び資本準備金の額959,320千円をそれぞれ減少し、その他資本剰余金に振り替えております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が100,000千円、資本剰余金が1,913,891千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	133,771千円	95,641千円
のれんの償却額	8,743	28,139

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

当社グループは、「デジタルPR事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

当社グループは、「デジタルPR事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。